

平成20年度 事業報告書

[平成20年4月1日から平成21年3月31日まで]

学校法人 西日本工業学園

目 次

1. 法人の概要	1
I. 建学の精神	
II. 学校法人の沿革	
III. 組織・附属機関等の組織図	
IV. 所在地	
V. 設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生数などの状況	
VI. 役員・教職員の概要	
2. 事業の概要	4
I. 当年度の主な事業について	
II. 平成20年度就職状況について	
III. 平成21年度入試状況等について	
3. 財務の概況	8
I. 平成20年度資金収支総括表	
II. 平成20年度消費収支総括表	
III. 平成20年度消費収支総括表（前年度比）	
IV. 貸借対照表（平成21年3月31日現在）	

1. 法人の概要

I. 建学の精神

1. 建学の理念

人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する

2. 教育目標

豊かな人間性の錬成とすぐれた工業技術者の育成

3. モットー

人を育て技術を拓く

4. 目的（行動する目標）

(1) 国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる高度技術者の育成

(2) 未知の分野に立ち向かうことの出来る気力と自信を持った技術者の育成

(3) 世界に向かって「夢」を発信する西日本工業大学の建設

5. 教育方針

(1) 徳育を最重要課題とし、知育、体育がこれを助ける教育の実施

(2) 産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・企業家の育成

(3) 学生の長所を伸ばすきめ細かな教育の実現

II. 学校法人の沿革

昭和42年 西日本工業大学開学（工学部4年生、機械工学科80名、電気工学科80名）

理事長／有田一壽 初代学長／嘉村平八 就任 二代学長／大倉三郎 就任

昭和43年 土木工学科40名、建築学科40名増設認可

昭和46年 土木工学科80名、建築学科80名に変更認可

昭和52年 三代学長／有田一壽 就任 四代学長／許斐 貢 就任

昭和53年 学校法人九州工業学園と学園分離 学校法人西日本工業学園と改称

昭和63年 五代学長 井上順吉 就任

平成 4月 臨時定員増認可

（平成4年度から平成11年度 機械工学科130名、電気工学科140名、建築学科110名）

平成 5年 六代学長 岡部淳一 就任

平成 8年 編入学定員設定認可（機械工学科4名、電気工学科5名、土木工学科2名、建築学科2名）

平成10年 七代学長 坂田弘 就任

平成11年 理事長 有田一壽 病歿 理事長 入江伸明 就任

入学定員の増加及び平成15年度までの臨時入学定員の設定認可

（機械工学科100名、電気工学科110名、建築学科100名）

平成14年 八代学長 坂本正史 就任

平成15年 学科名称の変更（機械工学科を機械システム工学科、電気工学科を電気電子情報工学科、土木工学科を環境都市デザイン工学科）

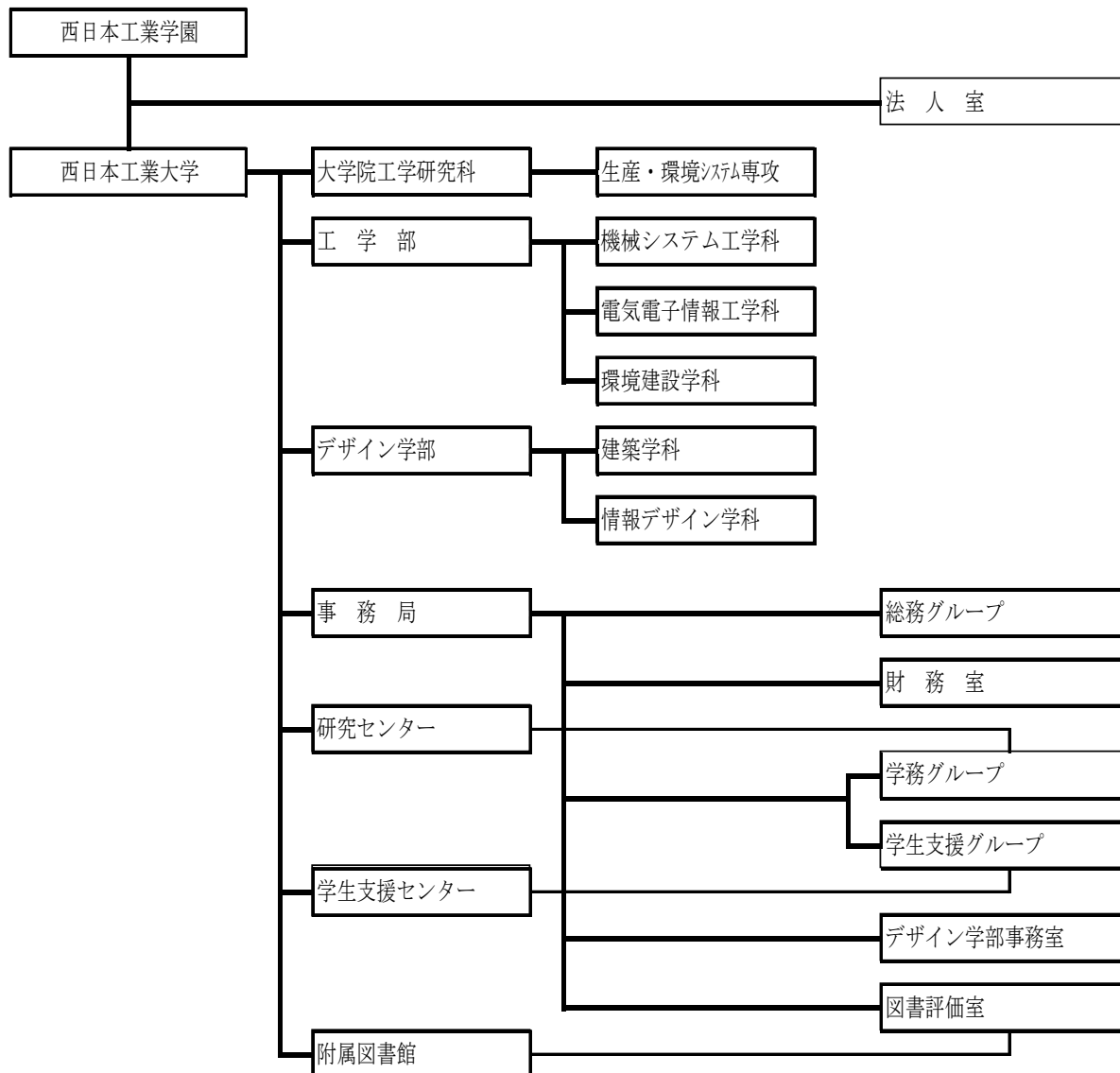
平成16年 大学院工学研究科修士課程（生産・環境システム専攻）10名を設置

情報デザイン学科を設置及び学科定員の改組（機械システム工学科90名、電気電子情報工学科90名、環境都市デザイン工学科60名、建築学科75名、情報デザイン学科75名） 小倉にサテライトキャンパス開設

平成17年 機械システム工学科コース名称変更（航空自動車コース）環境都市デザイン工学科コース再編（建設防災コース・環境デザインコース）

- 平成18年 小倉キャンパス開設、デザイン学部設置（建築学科、情報デザイン学科）
 入学定員の変更（機械システム工学科 110 名、環境都市デザイン工学科 40 名）
 機械システム工学科コースの増設、デジタルエンジニアリングコース
 法人所在地変更（福岡県京都郡苅田町新津一丁目 11 番地 1 より、北九州市小倉
 北区室町一丁目 2 番 11 号）
- 平成19年 学科名称の変更（環境都市デザイン工学科を環境建設学科）
- 平成20年 理事長 入江伸明 病歿 理事長 鹿田磨樹 就任

Ⅲ. 組織・附属機関等の組織図 （平成20年4月1日現在）



Ⅳ. 所在地

西日本工業学園 : 〒803-8787 北九州市小倉北区室町一丁目 2 番 11 号 Tel 093-563-2228

西日本工業大学おばせキャンパス
 : 〒800-0394 福岡県京都郡苅田町新津一丁目 11 番地 1 Tel 0930-23-1491

西日本工業大学小倉キャンパス
 : 〒803-8787 北九州市小倉北区室町一丁目 2 番 11 号 Tel 093-563-2221

V. 設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生数などの状況 (平成 20 年 5 月 1 日現在)

【大 学】

学部	区分	学 科 名	1年	2年	3年	4年	合計	
工 学 部	定 員	機械システム工学科	110	110	112	92	424	
		電気電子情報工学科	90	90	92	92	364	
		環境建設学科	40	40	42	62	184	
		建築学科	－	－	－	77	77	
		情報デザイン学科	－	－	－	80	80	
		計	240	240	246	403	1,129	
	現 員	機械システム工学科	83	92	97	103	375	
		電気電子情報工学科	65	84	82	95	326	
		環境建設学科	30	22	23	33	108	
		建築学科	－	－	－	74	74	
		情報デザイン学科	－	－	－	78	78	
		計	178	198	202	383	961	
デ ザ イ ン 学 部	定 員	建築学科	75	75	77	－	227	
		情報デザイン学科	75	75	80	－	230	
		計	150	150	157	－	457	
	現 員	建築学科	85	88	85	－	258	
		情報デザイン学科	73	83	86	－	242	
		計	158	171	171	－	500	
	合 計		定 員	390	390	403	403	1,586
			現 員	336	369	373	383	1,461

【大学院 工学研究科（修士）】

専 攻	区分	1年	2年	合計
生産・環境システム専攻	定 員	10	10	20
	現 員	8	12	20

VI. 役員・教職員の概要 (平成 20 年 5 月 1 日現在)

【役員】

理事

理事長	鹿田 磨樹
理事（学長）	坂本 正史
理事（常勤）	桑原 豪士
理事（非常勤）	梁井 迪子
理事（非常勤）	西村 韶道
理事（非常勤）	小嶋 一碩

監事

監事（常勤）	和田 英樹
監事（非常勤）	中野 昌治

【評議員数】

評議員 14人

【教職員数】

専任教員 60人
専任職員 49人

2. 事業の概要

私立大学を取り巻く環境が、少子化の確実な進展の中でますます厳しさを増す中、平成20年9月の米国発の金融危機を契機とする100年に一度という経済危機は、地方私立大学の経営にも深刻な影響を与えつつあります。本学は、人間性に支えられた高度な工業技術者の育成という建学の理念に立ち返り、地道な教育研究活動を通じて地域に根ざした大学として生き残りを図って参ります。

平成20年度は、小倉キャンパスにおいては新たに隣接地に「西日本工業大学大学院・地域連携センター」の建設が進み、平成21年3月に無事竣工しました。小倉キャンパスの教育研究環境を補完すると共に、地域連携の新たな拠点施設として、地域社会における本学の存在意義を更に高めるものと期待されます。また、年度途中より西小倉駅前の民間学生寮の借り上げ交渉が進展し、「西日本工業大学小倉学生会館」として平成21年3月にオープンする運びとなり、開設3年次となる小倉キャンパスの教育研究環境の整備が大きく進展しました。一方おばせキャンパスにおいても、建築学科のデザイン学部への平成21年度完全移行を前に、校舎設備の利用見直し等の検討を行い、活用する教室、研究室、実験室等の再配置が進みました。

また平成20年度においては、文部科学省の学校法人運営調査及び会計検査院の实地検査が実施され、法人の経営状況や大学の運営についての専門的な調査及び検査が行われましたが、特段の指摘事項も無く無事終了致しました。また平成20年4月に平成21年度から工学部既存学科を改組転換し、新たに2学科を開設することを文部科学省に届け出ました。さらに文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）に前年度採択された本学環境ESDプログラム「地域教育ネットワークと地域自然環境を利用した実践的環境共生教育」が2年次を迎え、多彩な事業が展開されました。

以下に、平成20年度における主な事業内容について述べます。

I. 当年度の主な事業について

1) 「大学院・地域連携センター」の竣工

北九州市立思永中学校PFI事業の一環として、平成19年12月に着工されました。地上7階建て鉄骨造、延床面積3,900㎡で、平成21年3月に竣工し、オープン後は大学と地域の産官学連携の中核施設としての機能の他、大学院の研究やデザイン学部の教育に活用されます。

2) 「小倉学生会館」のオープン

JR西小倉駅徒歩1分の地に、鉄筋コンクリート8階建て延床面積3,144㎡の学生寮を賃借し、学生要望の強かった学生食堂（90席）、サークル室、学生宿舎（120室）、自習室等を備えた「小倉学生会館」を平成21年3月にオープンしました。

3) 小倉キャンパスの教育研究環境の整備

「大学院・地域連携センター」の完成により、工房や設計スタジオのほか中教室2室等が整備されました。また、一時的にギャラリーの教室等への転用などで教室不足を補っていた小倉キャンパス内に新たに大教室（200人収容）が整備され、小倉キャンパスの教室状況は大きく充実しました。また、「大学院・地域連携センター」に新たに駐車場と不足していた駐輪スペースも確保されました。

4) おばせキャンパスの教育研究環境の整備

おばせキャンパスは、小倉キャンパスのデザイン学部（600 名体制）が完成年度を迎えることにより、平成 21 年度以降は学生 1000 名体制のキャンパスとなります。そこで、校舎設備の利用見直しを行うこととなり、先ずボイラー設備の廃止に伴う、教室、研究室の配置見直しを実施しました。

また、既存設備老朽化に伴い、Eメールシステム更新などを含むサーバー関連設備及び情報教育教室のパソコン設備の更新を行い、教育研究環境の整備を図りました。

5) 文科省学校法人運営調査の実施

平成 20 年 11 月 11 日に、文部科学省の学校法人運営調査委員による実地調査が行われました。理事会や評議員会等の法人運営のあり方から大学の入学者確保方策に至るまで、幅広い項目について調査が実施され、経営基盤の安定化に努めることや、内部監査体制の確立についての指導、助言が当日の意見交換の中でありましたが、その後特別な指摘事項の通知はありませんでした。

6) 会計検査院実地検査の実施

平成 21 年 1 月 19 日～20 日に、会計検査院による実地検査が行われました。日本私立学校振興・共済事業団からの一般補助、特別補助及び文科省からの直接補助、科学研究費補助金について、申請が適正に行われているか、適正な執行が為されているか、証票等の保管がなされているか、等々について厳正な検査が行われました。その結果、講評時には特別な指摘事項はありませんでした。

7) 平成 21 年度開設の工学部新学科を文部科学省に届出

平成 20 年 4 月に、工学部既存学科（機械システム工学科、電気電子情報工学科及び環境建設学科）を改組し、新たに総合システム工学科及びデジタルエンジニアリング学科を設置することを文部科学省に届け出を行いました。

総合システム工学科は、工学部の既存 3 学科改組を行い、環境というキーワードを柱とした研究開発の基盤を成す基礎力を育成する工学の総合化教育を、デジタルエンジニアリング学科は、北部九州の自動車生産基地化の動きに呼応して、計算機を駆使して仕事を遂行する実践技術者の育成を目的としています。

8) 環境ESDプログラムの実施

文科省現代GPに採択された本学環境ESDプログラム「地域教育ネットワークと地域自然環境を利用した実践的環境共生教育」が 2 年次を迎え、4 月の平成 20 年度開講式を皮切りに多彩なプログラムが年間を通じて実施されました。平成 20 年 11 月 15 日には発展講座「連携実習」の一環として、環境ESDフォーラムを開催し、八並康一行橋市長、本学の坂本学長による基調講演、TOTO株式会社の西村副社長による特別講演、韓国・東明大学及び蓮庵工業大学からお招きした 3 人の教授による事例報告、行橋高校ほか小中高校のみなさんによるスピーチ等、さまざまな角度からの取り組みが発表されました。

9) 企業懇談会の開催

平成 20 年度西日本工業大学企業懇談会が平成 20 年 11 月 5 日に小倉キャンパスで開催され、企業 112 社（140 名）と地元有力企業の経営者や有識者からなる客員教授の方々と本学関係者を合わせて約 200 名が出席しました。企業懇談会は 2 部構成で行われ、第 1 部では各学科の研究が紹介されている研究者紹介ビデオが放映され、続いて次年度から本学の客員教授に就任される宮本隆治氏（元NHKアナウンサー）より「良い印象の言葉力」と題して特別講演が行われました。また、第 2 部での懇親会では、本学のハッピーを着用した教職員が企

業の方々と名刺交換や情報交換を行い、大変有意義な会となりました。

10) 産学連携協定の締結

本学と西日本シティ銀行は、地域の発展と大学の教育研究をはじめとする学術振興に寄与することを目的に、平成20年11月5日産学連携協力に関する協定を締結しました。この産学連携協力は、西日本シティ銀行のユーザー企業と本学との共同研究、技術相談等を通じた地域産業支援に関する連携協力や、相互のノウハウを活用した連携協力、講演会や技術交流会等の共同開催、またベンチャー企業育成に関する連携協力等を計画しており、北九州市内の大学では初の試みとなります。

11) 中国の河海大学文天学院の教育・学術交流協定について

本学と中国の河海大学文天学院は、平成21年3月10日に教育・学術交流協定を締結しました。この交流協定は、相互の信頼と理解の上に姉妹校関係を結び、教育・学術上の交流推進を通じて双方の教育及び学術研究の発展を目的とするものです。

Ⅱ. 平成20年度就職状況について (平成21年3月31日現在)

- 1) 就職内定率について 97.1% (前年度 99.2%)
- 2) 大学院への進学状況について
 本学12名、九州工業大学5名、九州大学1名、山口大学1名。
 名古屋工業大学1名の計20名 (前年度20名)
- 3) 大企業への内定者について (大企業の定義：資本金3億円以上及び従業員数300名以上)
 - ・機械システム工学科：アマダ、宇部興産、JFEスチール等に 計36名
 - ・電気電子情報工学科：中電工、きんでん、神戸製鋼所等に 計20名
 - ・環境都市デザイン学科：若築建設、前田道路、日本テクト等に 計9名
 - ・建築学科：大和リース、熊谷組、東日本ハウス等に 計18名
 - ・情報デザイン学科：九州旅客鉄道、松下電工ホームエンジニアリング等に 計17名

Ⅲ. 平成21年度入試状況等について

1) 平成21年度入試結果

【大学】

学 部 ・ 学 科 名	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合システム工学科	165	220	218	215	142
デジタルエンジニアリング学科	75	66	65	62	52
工 学 部 計	240	286	283	277	194
建築学科	75	85	85	85	67
情報デザイン学科	75	101	99	98	79
デザイン学部 計	150	186	184	183	146
大 学 合 計	390	472	467	460	340

【大学院 工学研究科 (修士)】

専 攻 名	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生産・環境システム専攻	10	21	21	21	17

2) 平成21年度在籍数(平成 21 年 5 月 1 日現在)

【 大 学 】

学部	区分	学 科 名	1年	2年	3年	4年	合計
工 学 部	定 員	機械システム工学科	－	110	112	112	334
		電気電子情報工学科	－	90	92	92	274
		環境建設学科	－	40	42	42	124
		建築学科	－	－	－	－	0
		情報デザイン学科	－	－	－	－	0
		総合システム工学科	165	－	－	－	165
		デジタルエンジニアリング学科	75	－	－	－	75
		計	240	240	246	246	972
	現 員	機械システム工学科	－	80	88	105	273
		電気電子情報工学科	－	70	83	91	244
		環境建設学科	－	30	22	27	79
		建築学科	－	－	－	10	10
		情報デザイン学科	－	－	－	4	4
		総合システム工学科	142	－	－	－	142
		デジタルエンジニアリング学科	52	－	－	－	52
		計	194	180	193	237	804
デザイン学部	定 員	建築学科	75	75	77	77	304
		情報デザイン学科	75	75	80	80	310
		計	150	150	157	157	614
	現 員	建築学科	66	83	86	83	318
		情報デザイン学科	79	75	82	84	320
		計	145	158	168	167	638
		合 計	定 員	390	390	403	403
現 員	339		338	361	404	1,442	

【大学院 工学研究科（修士）】

専 攻	区分	1年	2年	合計
生産・環境システム専攻	定 員	10	10	20
	現 員	17	8	25

3. 財 務 の 概 要

当期の財務の状況について、その概況を報告致します。

I. 平成20年度 資金収支総括表

(単位 千円)

収 入 の 部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,750,000	1,759,942	△	9,942
手 数 料 収 入	21,400	23,090	△	1,690
寄 付 金 収 入	28,150	30,400	△	2,250
補 助 金 収 入	317,350	331,038	△	13,688
国庫補助金収入	316,500	330,155	△	13,655
地方公共団体補助金収入	850	882	△	32
資 産 運 用 収 入	98,000	98,154	△	154
資 産 売 却 収 入	326,457	326,457		0
事 業 収 入	9,200	8,763		437
雑 収 入	120,880	119,678		1,202
小 計	2,671,437	2,697,522	△	26,085
前 受 金 収 入	187,540	191,287	△	3,747
そ の 他 の 収 入	164,205	204,243	△	40,039
資金収入調整勘定	△ 287,540	△ 310,023		22,483
前年度繰越支払資金	2,075,765	2,075,765		
収 入 の 部 合 計	4,811,407	4,858,795	△	47,387
支 出 の 部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人 件 費 支 出	1,087,058	1,046,847		40,211
教育研究経費支出	770,931	711,039		59,892
管 理 経 費 支 出	153,689	148,371		5,318
施 設 関 係 支 出	771,687	766,444		5,243
設 備 関 係 支 出	86,532	84,648		1,884
小 計	2,869,897	2,757,348		112,549
資 産 運 用 支 出	63,000	55,659		7,341
そ の 他 の 支 出	89,657	86,100		3,557
〔 予 備 費 〕	19,718			19,718
資金支出調整勘定	△ 27,792	△ 31,168		3,376
次年度繰越支払資金	1,796,927	1,990,856	△	193,929
支 出 の 部 合 計	4,811,407	4,858,795	△	47,387

当初見込みより、2千6百万円増収となりました。補助金・学生生徒等納付金の増収によるものです。

おばせキャンパス・小倉キャンパスの光熱水費の節減等、予算執行時に経費節減に努めました。

大学院・地域連携センター建設代金の支払です。

予算の適正な執行及び節減に努めた結果によるものです。

支出の抑制により、当初見込みより1億9千4百万円、資金が増加しました。
また、期中における資金増減（当年度繰越支払資金-前年度繰越支払資金）は8千5万円ほど減少しました。大学院・地域連携センター建設代金を自己資金で賄ったためです。

- (注) 1. 千円未満は個々に四捨五入している。
2. 資産運用の特定資産(預金)については、収支相殺としている。
3. 予備費20,000千円の内、管理経費に282千円使用している。

Ⅱ. 平成20年度 消費収支総括表

(単位 千円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	1,750,000	1,759,942	△ 9,942
手 数 料	21,400	23,090	△ 1,690
寄 付 金	28,350	33,413	△ 5,063
補 助 金	317,350	331,038	△ 13,688
国庫補助金収入	316,500	330,155	△ 13,655
地方公共団体補助金収入	850	882	△ 32
資 産 運 用 収 入	98,000	98,154	△ 154
事 業 収 入	9,200	8,763	437
雑 収 入	120,880	119,678	1,202
帰 属 収 入 合 計	2,345,180	2,374,078	△ 28,898
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 446,800	△ 451,949	5,149
消費収入の部合計	1,898,380	1,922,129	△ 23,749
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	1,084,258	1,043,796	40,462
教 育 研 究 経 費	1,150,931	1,089,538	61,393
(うち、減価償却額)	(380,000)	(378,499)	(1,501)
管 理 経 費	165,689	159,910	5,779
(うち、減価償却額)	(12,000)	(11,539)	(461)
資 産 処 分 差 額	63,000	55,659	7,341
徴 収 不 能 額	3,473	3,473	0
徴収不能引当金繰入金	10,000	6,600	3,400
[予 備 費]	16,246		16,246
消費支出の部合計	2,493,596	2,358,974	134,622
当年度消費支出超過額	595,216	436,846	
前年度繰越消費支出超過額	189,179	189,179	
翌年度繰越消費支出超過額	784,395	626,025	

主な基本金組入額の理由は、大学院・地域連携センター建設に伴う学園基本財産への組入です。

当年度帰属収支差額は当初見込みより1億4千8百万円の支出超過から、1千5百万円の収入超過に転換しました。
なお、基本金組入額を加えた消費支出超過額は、4億3千7百万円の支出超過となっています。

(注) 1. 千円未満は個々に四捨五入している。

2. 予備費の使用は、管理経費282千円と徴収不能額3,472千円である。

Ⅲ. 平成20年度 消費収支総括表（前年度比）

（単位 千円）

消費収入の部				
科 目	平成20年度決算	平成19年度決算	増	減
学生生徒等納付金	1,759,942	1,776,264	△	16,322
手数料	23,090	22,819		271
寄付金	33,413	27,700		5,713
補助金	331,038	340,474	△	9,437
国庫補助金収入	330,155	338,738	△	8,583
地方公共団体補助金収入	882	1,736	△	854
資産運用収入	98,154	123,868	△	25,714
事業収入	8,763	12,346	△	3,583
雑収入	119,678	109,371		10,307
帰属収入合計	2,374,078	2,412,843	△	38,765
基本金組入額合計	△ 451,949	△ 32,000	△	419,949
消費収入の部合計	1,922,129	2,380,843	△	458,714
消費支出の部				
科 目	平成20年度決算	平成19年度決算	増	減
人件費	1,043,796	1,132,930	△	89,134
教育研究経費	1,089,538	1,102,395	△	12,858
（うち、減価償却額）	（ 378,499）	（ 393,684）	（ △ 15,185）	
管理経費	159,910	162,642	△	2,732
（うち、減価償却額）	（ 11,539）	（ 12,244）	（ △ 705）	
資産処分差額	55,659	0		55,659
徴収不能引当金繰入額等	10,073	12,715	△	2,643
消費支出の部合計	2,358,974	2,410,682	△	51,708
当年度消費支出超過額	436,846	29,839		
前年度繰越消費支出超過額	189,179	159,340		
翌年度繰越消費支出超過額	626,025	189,179		

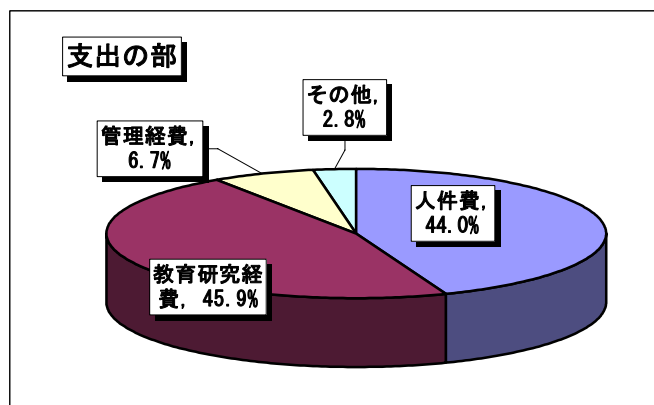
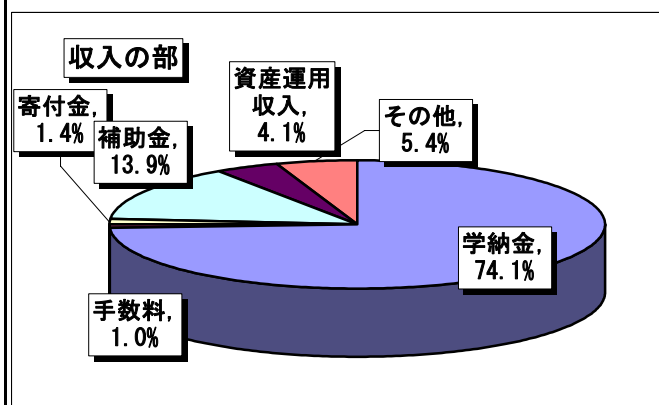
本年度は世界的な金融不安により、運用環境が悪化したため、前年度より減収となりました。

中途退職者・休職者があった為などで、減収となりました。

世界的な金融不安のため、急激な円高が進み、満期償還の外債で為替差損が発生したためなどです。

（注）千円未満は個々に四捨五入している

平成20年度 財務比率（帰属収入を100とした場合の比率）



IV. 貸 借 対 照 表

平成21年 3 月31日

(単位 千円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	11,722,377	11,238,027	484,350
有 形 固 定 資 産	9,047,379	8,581,284	466,095
土 地	1,348,966	1,348,966	0
建 物	6,394,229	5,873,427	520,802
構 築 物	192,550	227,212	△ 34,662
教育研究用機器備品	380,566	389,993	△ 9,427
図 書	658,215	651,576	6,639
建 設 仮 勘 定	0	12,128	△ 12,128
そ の 他	72,854	77,983	△ 5,129
その他の固定資産	2,674,998	2,656,743	18,255
長 期 貸 付 金	10,676	10,303	373
減価償却引当特定資産	2,100,000	2,100,000	0
退職給与引当特定資産	500,000	500,000	0
有 価 証 券	1,000	1,000	0
そ の 他	63,323	45,440	17,882
流 動 資 産	2,126,743	2,538,947	△ 412,204
現 金 預 金	1,990,856	2,075,765	△ 84,909
未 収 入 金	124,204	128,731	△ 4,527
短 期 貸 付 金	4,277	2,398	1,879
有 価 証 券	0	326,457	△ 326,457
そ の 他	7,406	5,596	1,810
合 計	13,849,120	13,776,973	72,146

大学院・地域連携センター新築に伴い増加しました。

前年度の大学院・地域連携センター事業の前渡金を建物に振り替えました。

主な増加理由は、平成21年度開設の小倉学生会館賃貸契約に基づく保証金です。

現金預金が前年度より減少していますが、大学院地域・連携センターの建設代金を自己資金で賄ったためです。

当初計画通り、大学院・地域連携センター建設資金に充てるため、有価証券を取り崩しました。

負債の部, 基本金の部, 消費収支差額の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	483,446	486,497	△ 3,051
長 期 借 入 金	0	0	0
退職給与引当金	483,446	486,497	△ 3,051
流 動 負 債	302,908	242,813	60,095
短 期 借 入 金	0	0	0
前 受 金	191,287	187,540	3,747
そ の 他	111,620	55,273	56,348
負 債 の 部 合 計	786,353	729,310	57,043
第 1 号 基 本 金	13,523,791	13,071,842	451,949
第 4 号 基 本 金	165,000	165,000	0
基 本 金 の 部 合 計	13,688,791	13,236,842	451,949
翌年度繰越消費支出超過額	△ 626,025	△ 189,179	△ 436,846
消費収支差額の部合計	△ 626,025	△ 189,179	△ 436,846
負 債 , 基 本 金 , 消費収支差額の合計	13,849,120	13,776,973	72,146

本学園は、H15年度より、借入金がゼロとなっています

本年度、学生の学友会等資金を預かったため、預り金が増加しました。

【参考】

正 味 財 産	13,062,767	13,047,663	15,103
---------	------------	------------	--------

- (注) 1. 千円未満は個々に四捨五入している
2. 徴収不能引当金計上額 6,600千円(未収入金の徴収不能に備えるため)
3. 担保に供されている資産はない。
4. 減価償却引当資産及び退職給与引当特定資産等のうち、有価証券保有金額は2,208,200千円で、年度末の時価総額は1,867,597千円であり、計上総額より時価額が340,603千円下回っています。
5. 本学園が債務保証を行っているものは、教職員の銀行借入金6,846千円です。
6. 正味財産は、資産の部合計－負債の部合計の金額である。

資 金 収 支 計 算 書

平成20年 4月 1日から

平成21年 3月31日まで

<< 総括表 >>

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,750,000,000	1,759,942,000	△ 9,942,000
手 数 料 収 入	21,400,000	23,089,590	△ 1,689,590
寄 付 金 収 入	28,150,000	30,400,000	△ 2,250,000
補 助 金 収 入	317,350,000	331,037,600	△ 13,687,600
国庫補助金収入	316,500,000	330,155,200	△ 13,655,200
地方公共団体補助金収入	850,000	882,400	△ 32,400
資 産 運 用 収 入	98,000,000	98,154,496	△ 154,496
資 産 売 却 収 入	326,457,359	326,457,359	0
事 業 収 入	9,200,000	8,763,153	436,847
雑 収 入	120,880,000	119,677,816	1,202,184
前 受 金 収 入	187,540,000	191,287,183	△ 3,747,183
そ の 他 の 収 入	164,204,505	733,090,241	△ 568,885,736
資金収入調整勘定	△ 287,539,946	△ 310,023,244	22,483,298
前年度繰越支払資金	2,075,765,244	2,075,765,244	
収 入 の 部 合 計	4,811,407,162	5,387,641,438	△ 576,234,276
支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	1,087,058,000	1,046,847,259	40,210,741
教 育 研 究 経 費 支 出	770,931,000	711,038,618	59,892,382
管 理 経 費 支 出	153,688,511	148,370,674	5,317,837
施 設 関 係 支 出	771,687,000	766,443,557	5,243,443
設 備 関 係 支 出	86,532,000	84,647,675	1,884,325
資 産 運 用 支 出	63,000,000	584,505,352	△ 521,505,352
そ の 他 の 支 出	89,656,990	86,100,028	3,556,962
〔 予 備 費 〕	(281,511) 19,718,489		19,718,489
資金支出調整勘定	△ 27,792,058	△ 31,167,874	3,375,816
次年度繰越支払資金	1,796,927,230	1,990,856,149	△ 193,928,919
支 出 の 部 合 計	4,811,407,162	5,387,641,438	△ 576,234,276

(注) 予備費20,000,000円の内、管理経費に281,511円使用している。

消 費 収 支 計 算 書

平成20年 4月 1日から

平成21年 3月31日まで

<< 総括表 >>

(単位：円)

消 費 収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	1,750,000,000	1,759,942,000	△ 9,942,000
手 数 料	21,400,000	23,089,590	△ 1,689,590
寄 付 金	28,350,000	33,412,977	△ 5,062,977
補 助 金	317,350,000	331,037,600	△ 13,687,600
国庫補助金	316,500,000	330,155,200	△ 13,655,200
地方公共団体補助金	850,000	882,400	△ 32,400
資 産 運 用 収 入	98,000,000	98,154,496	△ 154,496
事 業 収 入	9,200,000	8,763,153	436,847
雑 収 入	120,880,000	119,677,816	1,202,184
帰 属 収 入 合 計	2,345,180,000	2,374,077,632	△ 28,897,632
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 446,800,000	△ 451,948,831	5,148,831
消 費 収 入 の 部 合 計	1,898,380,000	1,922,128,801	△ 23,748,801
消 費 支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	1,084,258,000	1,043,795,845	40,462,155
教 育 研 究 経 費	1,150,931,000	1,089,537,756	61,393,244
(うち、減価償却額)	(380,000,000)	(378,499,138)	(1,500,862)
管 理 経 費	165,688,511	159,909,836	5,778,675
(うち、減価償却額)	(12,000,000)	(11,539,162)	(460,838)
資 産 処 分 差 額	63,000,000	55,658,529	7,341,471
徴 収 不 能 額	3,472,500	3,472,500	0
徴収不能引当金繰入額	10,000,000	6,600,000	3,400,000
[予 備 費]	(3,754,011) 16,245,989		16,245,989
消 費 支 出 の 部 合 計	2,493,596,000	2,358,974,466	134,621,534
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	595,216,000	436,845,665	
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	189,178,941	189,178,941	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	784,394,941	626,024,606	

(注) 予備費20,000,000円のうち、管理経費281,511円・徴収不能額3,472,500円に使用している。

貸 借 対 照 表

平成21年 3 月31日

<< 総括表 >>

(単位:円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	11,722,376,886	11,238,026,758	484,350,128
有 形 固 定 資 産	9,047,378,565	8,581,283,706	466,094,859
土 地	1,348,965,511	1,348,965,511	0
建 物	6,394,229,284	5,873,427,114	520,802,170
構 築 物	192,549,888	227,212,299	△ 34,662,411
教 育 研 究 用 機 器 備 品	380,565,606	389,993,026	△ 9,427,420
図 書	658,214,548	651,575,733	6,638,815
建 設 仮 勘 定		12,127,500	△ 12,127,500
そ の 他	72,853,728	77,982,523	△ 5,128,795
その他の固定資産	2,674,998,321	2,656,743,052	18,255,269
長 期 貸 付 金	10,675,617	10,302,567	373,050
減価償却引当特定資産	2,100,000,000	2,100,000,000	0
退職給与引当特定資産	500,000,000	500,000,000	0
有 価 証 券	1,000,000	1,000,000	0
そ の 他	63,322,704	45,440,485	17,882,219
流 動 資 産	2,126,743,024	2,538,946,661	△ 412,203,637
現 金 預 金	1,990,856,149	2,075,765,244	△ 84,909,095
未 収 入 金	124,203,998	128,730,500	△ 4,526,502
短 期 貸 付 金	4,276,950	2,397,500	1,879,450
有 価 証 券	0	326,457,359	△ 326,457,359
そ の 他	7,405,927	5,596,058	1,809,869
合 計	13,849,119,910	13,776,973,419	72,146,491

負債の部, 基本金の部, 消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	483,445,690	486,497,104	△ 3,051,414
退 職 給 与 引 当 金	483,445,690	486,497,104	△ 3,051,414
流 動 負 債	302,907,617	242,812,878	60,094,739
前 受 金	191,287,183	187,539,946	3,747,237
そ の 他	111,620,434	55,272,932	56,347,502
負 債 の 部 合 計	786,353,307	729,309,982	57,043,325
第 1 号 基 本 金	13,523,791,209	13,071,842,378	451,948,831
第 4 号 基 本 金	165,000,000	165,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	13,688,791,209	13,236,842,378	451,948,831
翌年度繰越消費支出超過額	626,024,606	189,178,941	436,845,665
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 626,024,606	△ 189,178,941	△ 436,845,665
負 債 ・ 基 本 金 ・ 消 費 収 支 差 額 の 合 計	13,849,119,910	13,776,973,419	72,146,491

【参考】

正 味 財 産	13,062,766,603	13,047,663,437	15,103,166
---------	----------------	----------------	------------

- (注) 1. 減価償却累計額の合計額 4,476,412,644円
2. 徴収不能引当金計上額 6,600,000円(未収入金の徴収不能に備えるため)
3. 担保に供されている資産はない。
4. 退職給与引当金の額の算定方法は、期末要支給額878,974,180円の80%を基にして、私立大学退職金財団掛金・交付額との差額を加減した金額を計上している。
5. 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次の通り。
リース料総額265,982,220円 未経過リース料期末残高82,135,977円
6. 減価償却引当資産及び退職給与引当特定資産等のうち、有価証券保有金額は2,208,200,267円で、年度末の時価総額は1,867,597,041円であり、計上総額より時価額が340,603,226円下回っています。
7. 本学園が債務保証を行っているものは、教職員の銀行借入金6,846,270円です。
8. 正味財産は、資産の部合計－負債の部合計の金額である。

財 産 目 録

<<総括表>>

I. 資産総額	13,849,119,910 円
内、（一）基本財産	9,110,833,989 円
（二）運用財産	4,738,285,921 円
II. 負債総額	786,353,307 円
III. 正味財産	13,062,766,603 円

科 目	平成20年度末	
I. 資産額		
一 基本財産		
1 土 地		
おばせキャンパス	145,413 m ²	863,915,511 円
小倉キャンパス	996 m ²	485,050,000 円
2 建 物		
校舎等(おばせキャンパス)	42,172 m ²	3,631,737,934 円
校舎等(小倉キャンパス)	12,503 m ²	2,762,491,350 円
3 構築物 (おばせキャンパス)		192,549,888 円
4 教育研究用機器備品		380,565,606 円
5 その他の機器備品		67,925,995 円
6 図 書	147,653 冊	658,214,548 円
7 その他		68,383,157 円
計		9,110,833,989 円
二 運用財産		
1 現金預金		1,990,856,149 円
2 減価償却引当特定資産		2,100,000,000 円
3 退職給与引当特定資産		500,000,000 円
		0 円
4 貸付金		14,952,567 円
5 未収入金		124,203,998 円
6 その他		8,273,207 円
計		4,738,285,921 円
合 計		13,849,119,910 円
II. 負債額		
一 固定負債		
1 退職給与引当金		483,445,690 円
二 流動負債		
1 前受金		191,287,183 円
2 その他		111,620,434 円
合 計		786,353,307 円

監 査 報 告 書

学校法人 西日本工業学園
理事会・評議員会 御中

作成日 平成21年 5 月 21日
学校法人 西日本工業学園

監 事

和田 英 樹 

監 事

伊 野 昌 治 

学校法人西日本工業学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の平成20年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

監事として、理事会に出席するほか、理事から業務報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧することなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切になされており、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況は正しく示されております。また、学校法人の業務及び財産に関し不正の行為、並びに、法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

なお、業務執行状況について、次のように意見を述べます。

平成20年度の学園運営について、小倉・おばせ両キャンパスでの有効且つ効率的な教育研究条件の整備や収支の改善のための施策を着実に計画し実施されたと思います。

その結果として、前年度に引き続き僅かではあるが帰属収支差額のプラスを計上したことは次年度に向けた取組みへの励みともなり評価できると考えます。

今後とも定員に見合う入学者の確保に努め安定した経営を目指すことが最大の課題であり、急速な社会の変化の中で厳しさを増していくと予想される学園経営について中・長期の目標設定を的確に行い収支の均衡にご尽力いただくようお願いします。